



小松ウオール工業株式会社 | 東証プライム 7949

2025年3月期1Q 決算補足資料

2024年7月25日

■ 2025年3月期1Q 決算概要	3
■ 2025年3月期 業績予想	8

2025年3月期第1四半期

- 学校や病院・福祉施設向けが堅調で、売上高は3.1%増収と過去最高
- 品目別では可動間仕切や固定間仕切が増収、オフィスは新築向けが端境期
- 売上総利益率は0.3ポイント改善し33.5%、賃借料の増加や物流費の上昇等で営業利益は43.7%減の224百万円となったが、上期は減益計画でありほぼ想定線
- 期末の受注残は前年同期比4.9%増加。病院・福祉施設向けが引き続き堅調、再開発案件等によりオフィス向けも受注は回復

2025年3月期予想

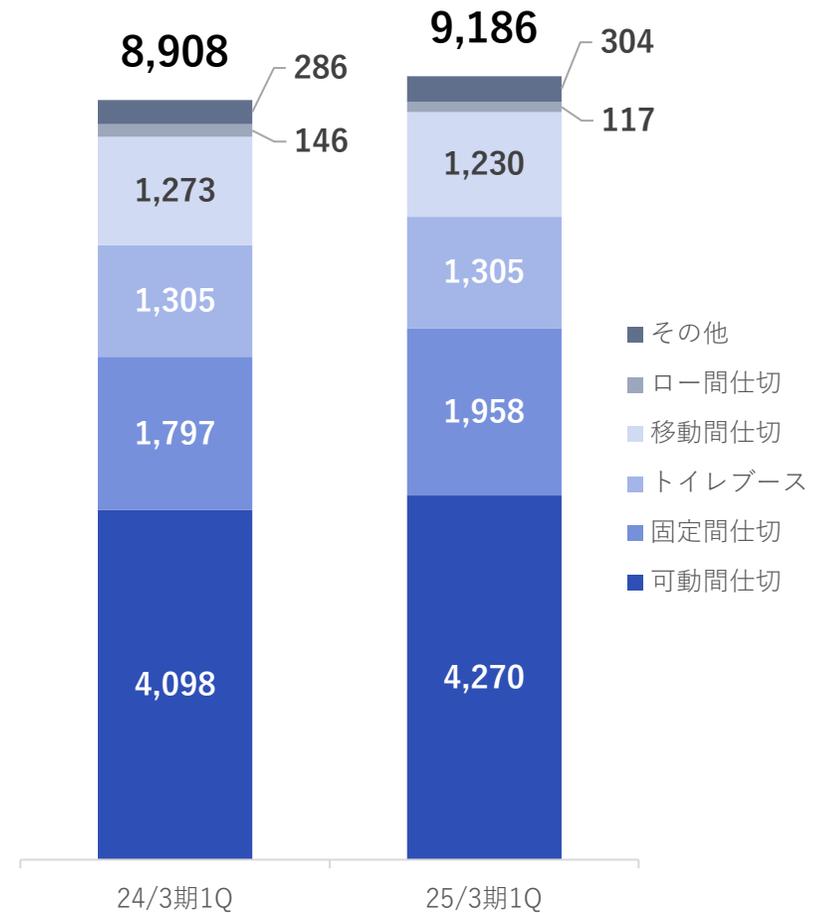
- オフィスの改修需要などが引き続き堅調、学校や病院・福祉施設等で固定間仕切やトイレブースの回復もあり、売上高は前期比5.6%増収を予想
- 賃借料の増加や物流コストや資材価格上昇を見込むものの、増収効果により営業利益は4.4%増益と引き続き増益を予想

株主還元

- 2025年3月期は株主配当方針である純資産配当率（DOE）3.0%を上回る130円の配当を予想、24年3月期比5円増配の計画

売上高

(百万円)



2025年3月期1Q 決算補足資料

2025年3月期1Q 決算概要

決算概要

- 固定間仕切や可動間仕切の増収により売上高は前年同期比3.1%増収と過去最高
- 販売価格適正化の浸透もあり売上総利益は前年同期比0.3ポイント改善、一方で、ショールーム増築に伴う賃借料の増加や物流費の上昇など販管費の増加により営業利益は同43.7%減益となったが、期初計画に沿った実績

単位：百万円	2023年3月期1Q		2024年3月期1Q		2025年3月期1Q		
	実績	構成比	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比増減率
売上高	7,353	100.0%	8,908	100.0%	9,186	100.0%	3.1%
売上総利益	2,287	31.1%	2,960	33.2%	3,078	33.5%	4.0%
販管費	2,347	31.9%	2,561	28.7%	2,853	31.1%	11.4%
営業利益	△60	△0.8%	399	4.5%	224	2.4%	△43.7%
経常利益	△43	△0.6%	456	5.1%	236	2.6%	△48.3%
当期純利益	△48	△0.7%	336	3.8%	157	1.7%	△53.3%

品目別売上高

■ 品目別売上高では、学校や病院・福祉施設向けの可動間仕切や固定間仕切が堅調に推移

■ 受注残も前年同期比4.9%増加、特に可動間仕切が14.9%増加。学校や病院・福祉施設向けに加え、大阪など再開発によりオフィス向けも増加

単位：百万円	2024年3月期 1Q	2025年3月期1Q					
	売上高	売上高	前年同期比 増減率	受注高	前年同期比 増減率	受注残高	前年同期比 増減率
売上高	8,908	9,186	3.1%	12,293	9.5%	19,787	4.9%
└ 可動間仕切	4,098	4,270	4.2%	5,426	22.3%	5,209	14.9%
└ 固定間仕切	1,797	1,958	9.0%	2,769	△6.7%	5,835	6.5%
└ トイレブース	1,305	1,305	△0.1%	2,015	4.2%	3,848	2.4%
└ 移動間仕切	1,273	1,230	△0.4%	1,609	11.6%	4,435	△2.8%
└ ロー間仕切	146	117	△19.6%	134	△14.0%	84	△12.7%
└ その他	286	304	6.2%	338	16.4%	373	△13.9%

貸借対照表

■ 1Qは季節性により4Q比で減収となったため、売上債権や買掛金が減少

■ 自己資本比率は81.9%と高い水準を維持

単位：百万円	2023年3月期末	2024年3月期末	2025年3月期1Q末	前期末差
流動資産	29,999	32,539	30,715	△1,824
現預金	15,579	17,640	18,269	629
売上債権	13,181	13,615	10,951	△2,664
棚卸資産	1,023	1,123	1,341	218
固定資産	14,760	14,915	15,140	225
有形固定資産	11,922	11,767	12,064	297
無形固定資産	420	385	380	△5
投資その他の資産	2,418	2,763	2,695	△68
総資産	44,760	47,455	45,856	△1,599
負債	8,535	9,388	8,279	△1,109
買掛金	2,345	2,350	1,796	△554
有利子負債	0	0	0	0
純資産	36,225	38,067	37,577	△490
負債純資産合計	44,760	47,455	45,856	△1,599

東京ショールームをリニューアル

■ 計画通り2024年6月に東京ショールームを増床し、新エリアをグランドオープン。新用途品や新製品の展示などにより、お客様への訴求を強化



2025年3月期1Q 決算補足資料

2025年3月期 業績予想

業績予想

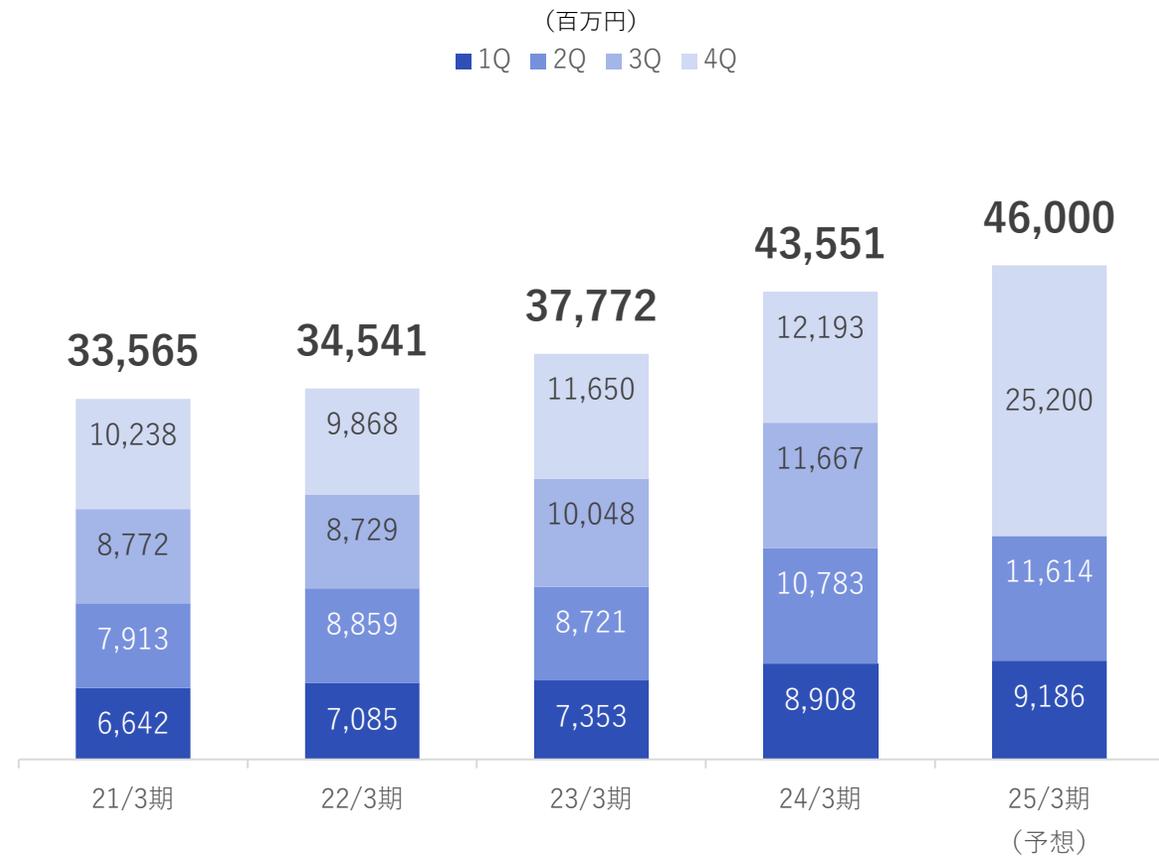
- 期初予想を継続、オフィスの改修需要などが引き続き堅調、学校や病院等での固定間仕切の回復もあり、売上高は前期比5.6%増収を予想
- 賃借料の増加や物流コスト、資材価格上昇を見込むものの、営業利益は4.4%増益と引き続き増益を予想
- 引き続き純資産配当率（DOE）3%を上回る配当を実施予定で、配当は前期比5円増配の130円を計画

単位：百万円	2023年3月期		2024年3月期		2025年3月期 通期予想		前期比 増減率
売上高	37,772	100%	43,551	100%	46,000	100%	5.6%
営業利益	2,306	6.1%	3,640	8.4%	3,800	8.3%	4.4%
経常利益	2,363	6.3%	3,732	8.6%	3,850	8.4%	3.2%
当期純利益	1,627	4.3%	2,775	6.4%	2,850	6.2%	2.7%
1株当たり利益	175円28銭		298円07銭		306円06銭		2.7%
1株当たり配当金	95円00銭		125円00銭		130円00銭		4.0%

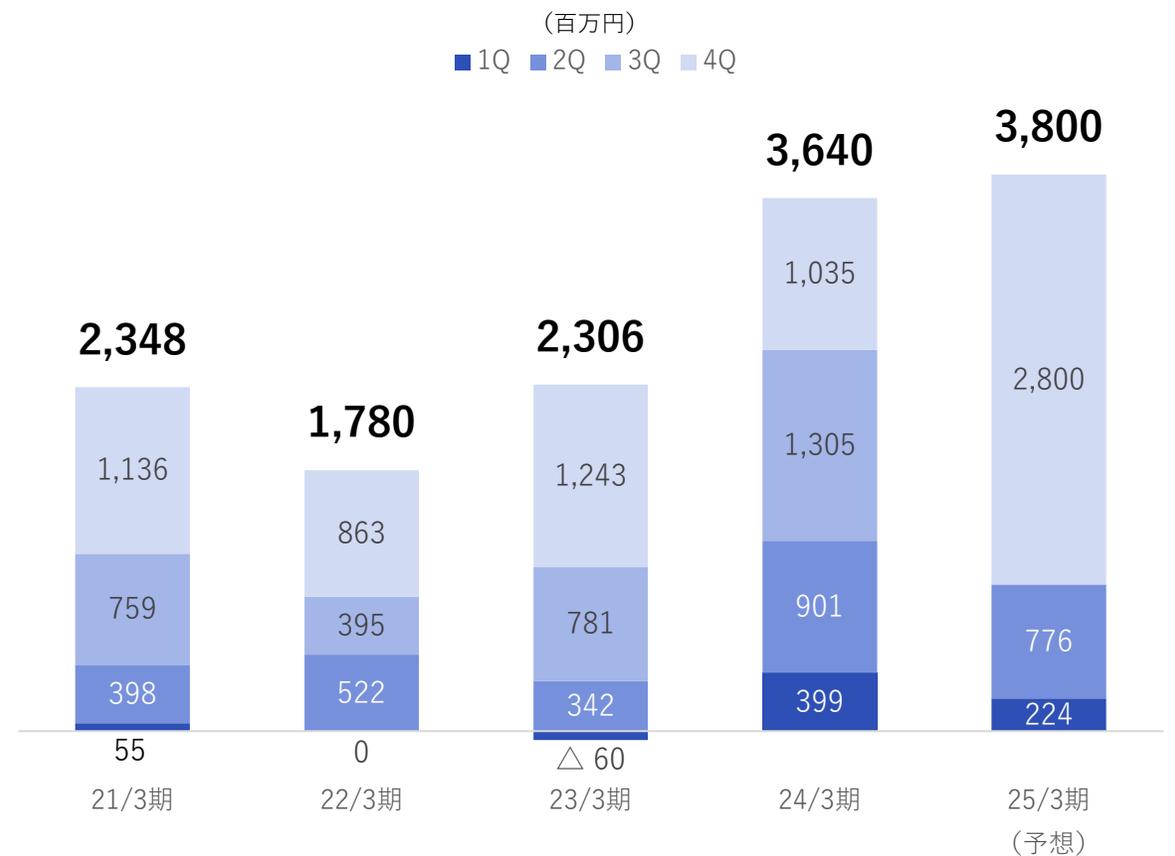
四半期業績推移

- 2025年3月期1Qの売上高は学校や病院・福祉施設向けが好調で増収、営業利益は賃借料の増加や物流コスト上昇等により減益
- 25年3月期2Q累計も新築ビル向けの端境期により増収率が鈍化、物流コスト等の上昇により営業減益を予想するものの、新築ビルが回復する下期は増収効果により営業増益に転じ、通期でも増収増益を予想

四半期売上高

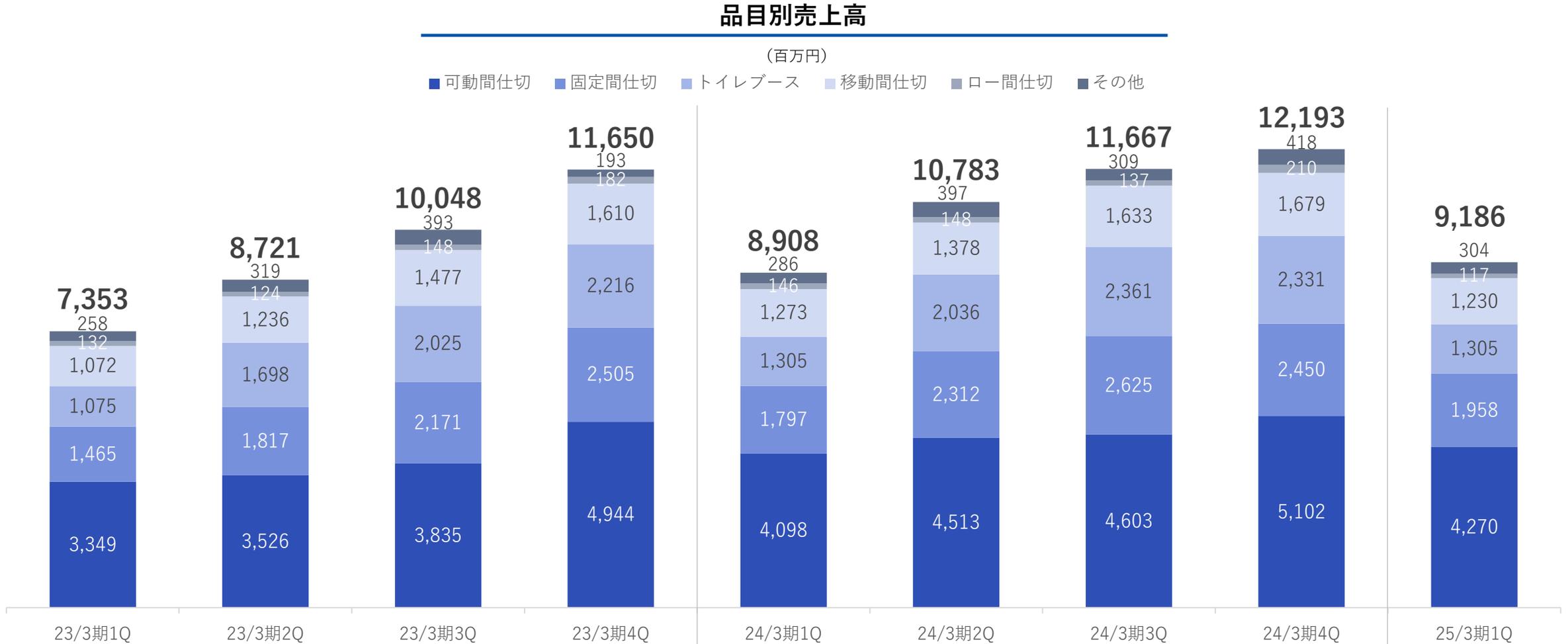


四半期営業利益



四半期品目別売上高推移

■ 2025年3月期1Qの売上高は可動間仕切や固定間仕切が学校や病院・福祉施設向けを中心に堅調に推移し、1Qとしては過去最高の売上



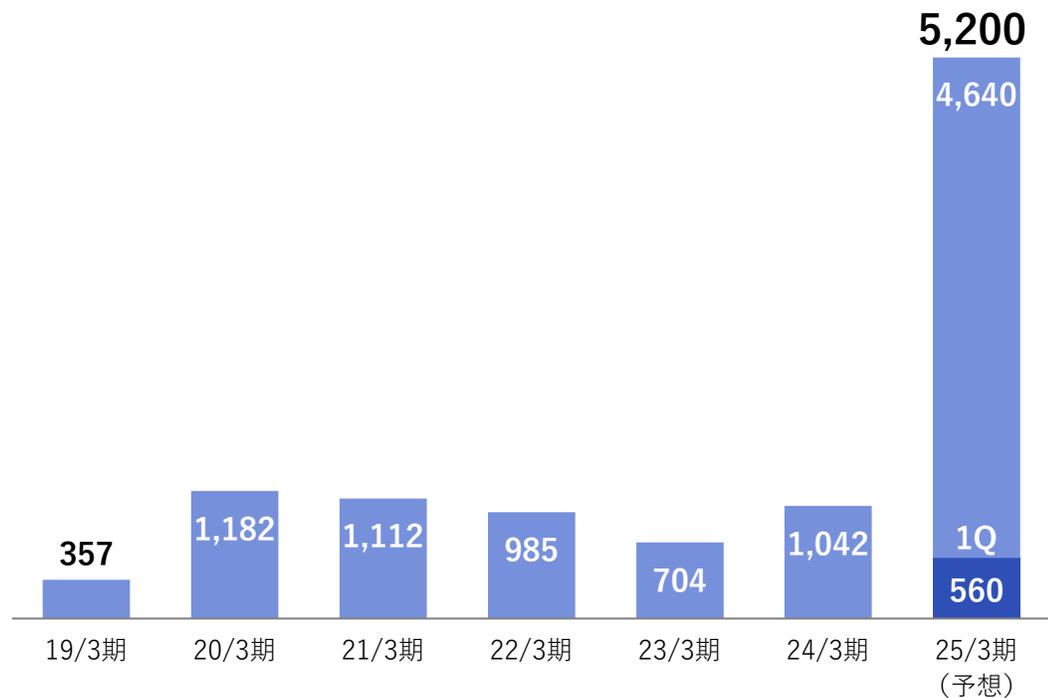
設備投資、減価償却費

■ 2025年3月期は加賀工場2号棟建設、東京や大阪ショールームへの投資等で5,200百万円の設備投資を計画

■ 1Qは東京ショールーム増床への投資や既存機械設備の維持更新等で560百万円の設備投資を実施

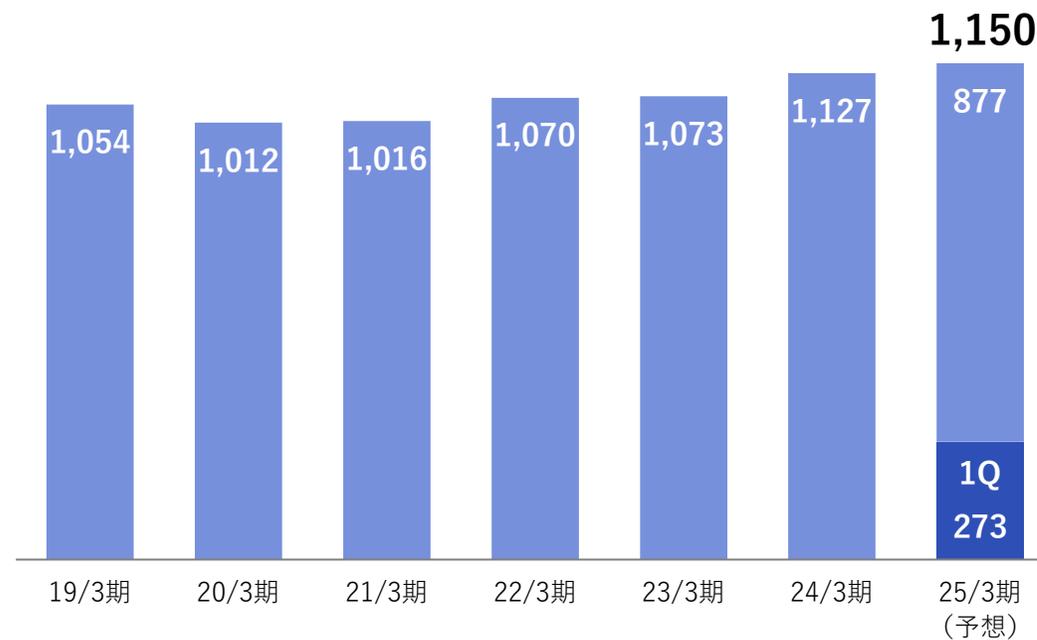
設備投資

(百万円)



減価償却費

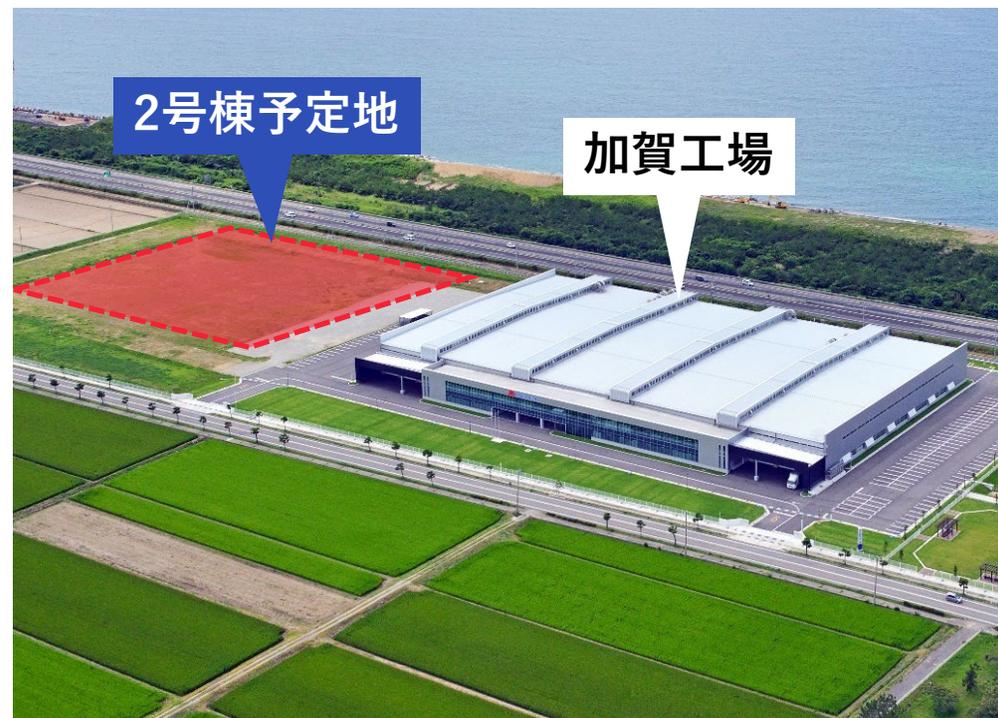
(百万円)



加賀工場2号棟（仮称）建設計画

- 加賀工場の隣接地に新棟を建設し、第三工場の可動間仕切の一部の生産ラインを移管し生産能力を増強、総額約95億円の投資
- 第三工場は生産ライン移管後の空きスペースを活用し、物流体制効率化のため出荷業務体制を整備

名	称	加賀工場2号棟（仮称）
主	な	事業
事	業	可動間仕切の製造 研究開発
投	資	金額
金	額	約95億円
建	築	面積
面	積	約19,000m ²
延	床	面積
面	積	約19,700m ²
建	設	開始年月
開	始	2025年2月予定
年	月	
操	業	開始年月
開	始	2026年6月予定
年	月	

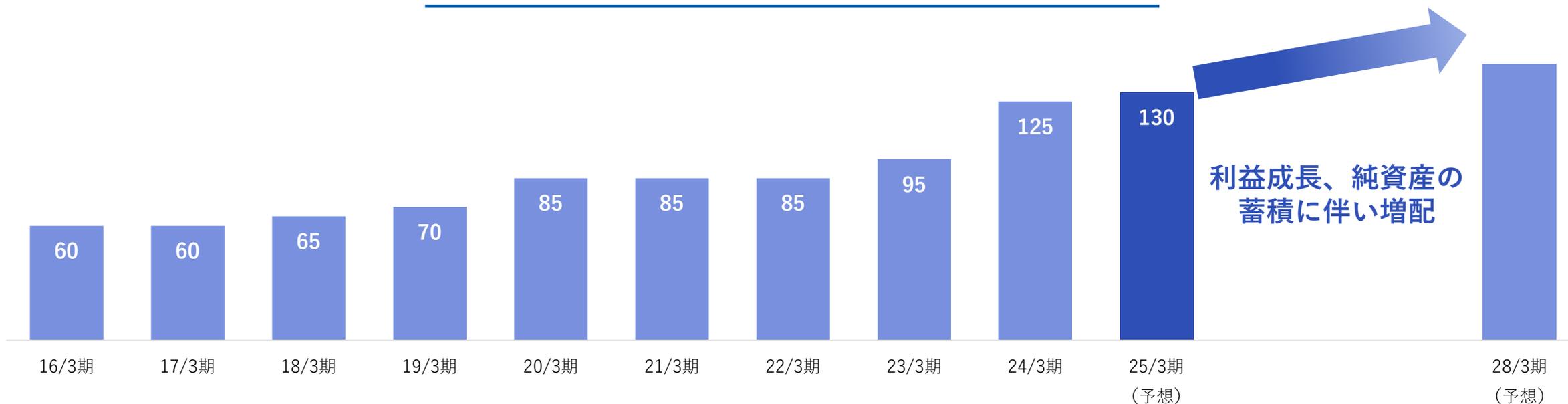


- 2024年3月期に株主還元方針を変更。方針変更に基づき24年3月期は125円（DOE 3.1%）の配当を実施
- 2025年3月期も増収増益を計画、上記配当方針に基づき5円増配の130円配当を計画

株主還元方針

純資産配当率*（DOE）3.0%を下限とする配当を実施し、
持続的な成長の実現等により配当水準の安定的向上を目指す

1 株当たり配当金推移（円）



*純資産配当率（DOE）＝当事業年度に基準日が属する普通株式に係る1株当たり配当金/1株当たり純資産（期首・期末の平均値）×100



小松ウォール工業株式会社 | 東証プライム 7949

お問合せ先

小松ウォール工業株式会社
総務部

TEL 0761-21-3131(代表)

https://www.komatsuwall.co.jp/form/form.php?form_id=201

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。